



TRUST DELETE Biz パナソニック版 (Plus / Wi-Fi 共通)

– Ver.1.1.13–

ワンビ株式会社

本マニュアルは、TRUST DELETE Biz パナソニック版および TRUST DELETE Biz パナソニック版 Plus、TRUST DELETE Biz パナソニック版 Wi-Fi (以降、明示的に記載のないものは、Plus / Wi-Fi 共通の項目として、すべて「パナソニック版」と記述します) の設定方法および操作方法について説明しています。

TRUST DELETE Biz 全般に関する操作方法是別紙 TRUST DELETE Biz スタンダード版 (インターネット消去版) のマニュアルをご覧ください。

管理サーバーの基本操作、プログラムのインストール・アンインストール、および再インストール等は TRUST DELETE Biz スタンダード版マニュアルの記載を参照してください。

※スタンダード版マニュアルは管理サーバー用とクライアント用の 2 種類がございます。

本ドキュメント内の機能名称または図は製品のバージョンにより実際の名称またはデザインと異なる場合があります。

Microsoft Windows 10, Windows 11, Microsoft Internet Explorer, Microsoft Edge は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。本文中のその他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

SMS20241031

重要 かならずお読みください

BIOS のアップデートについて

お客様がご利用のコンピューターによってはトラストデリートプログラムをインストールする前に BIOS のアップデートが必要な場合がございます。詳しくはサポートページをご確認ください。

リカバリーディスクについて

本サービスで消去を実行した場合、コンピューターの SSD 内の OS およびデータのすべてが消去されます。その結果、コンピューターの電源を入れても Windows を起動することができません。

コンピューターを工場出荷状態に復旧するにはリカバリーディスクが必要です。

本サービスをご利用になる前に、コンピューター本体の「取扱説明書 基本ガイド」の「リカバリーディスクを作成する」の手順に従って、必ずリカバリーディスクを作成してください。

UIM カード (SIM カード) について

本サービスに含まれるいくつかの機能は SMS を介して命令を実行するため、ご利用には SMS の送受信が可能な UIM カードおよびデータ通信と SMS が利用可能な回線契約が必要です (Wi-Fi 契約のお客様を除く)。

ご利用前にお使いの UIM カードが LTE 対応であること、ご契約にデータ通信と SMS が利用可能な回線契約が含まれていること、の 2 点をご確認いただきますようお願いいたします。データ通信のみの契約では SMS の送受信ができないためご利用いただけない機能がございます。ご注意ください。(詳細は 7 ページをご覧ください。)

本サービスをご利用に際して生じる SMS 送信料金はおお客様のご負担となりますのでご注意ください。

クライアントプログラムのインストール・アンインストールについて
本サービスではPCの BIOS 機能を使用しており、クライアントプログラムをインストールすることで PC 本体が本サービスに対応した状態に変更されます。サービスを終了される場合やPCを転用される場合は、事前にクライアントプログラムをアンインストールしてください。PC が通常の状態に戻ります。アンインストールを行わずに、コンピューターのリカバリや OS の再インストール等を実施すると、意図せずロックが発生するなど、該当コンピューターが正常に利用できなくなる可能性があります。

目次

重要 かならずお読みください	3
BIOS のアップデートについて	3
リカバリーディスクについて	3
UIM カード (SIM カード) について	3
クライアントプログラムのインストール・アンインストールについて	4
システム動作環境	7
1. トラストデリートサービスの基本セットアップ	8
STEP1 UIM カード (SIM カード) の準備 (SMS を利用する機能をご利用の場合のみ必要)	8
STEP2 設定メニューの準備	9
STEP3 クライアントプログラムのインストールと利用登録	11
登録実行から数分経過しても「登録済み」と表示が出ない (登録に失敗している) 場合	13
STEP4 動作と設定の確認	14
STEP5 クライアントプログラムの登録確認と最後の設定	15
2. コンピューター紛失時の消去命令の発行	18
消去命令発行の手順	18
消去命令を受信した際のコンピューターの挙動について	20
消去命令実行中のコンピューターの挙動について	20
消去したコンピューターが戻ってきたら	20
消去命令の完了を確認できない場合	20
3. ロック命令の発行	21
ロック命令発行の手順	21
ロック命令を受信した際のコンピューターの挙動について	21
ロック命令実行中のコンピューターの挙動について	21
ロックの実行を確認できない場合	22
コンピューター登録直後の注意点	22
ロックしたコンピューターが戻ってきたら	22
解除パスワードの確認方法	23
解除パスワードの変更方法	23
4. 情報取得命令とビープ命令	25
情報取得命令とは	25
ビープ命令とは	25
5. コンピューター側でのセキュリティ機能	26
BIOS パスワードを規定回数失敗した時	26
一定期間電源を ON にしない時	26
起動時に UIM カードが検出されない時	27
起動時に無線スイッチが OFF になっている時	27

指定のエリア外で起動したときのアクション(GeoFence)	27
6. 消去やロックの確認方法	30
サーバーから命令を発行する場合	30
コンピューター側で自動的にセキュリティ機能が実行される場合	30
ステータスレポート	31
データ適正消去実行証明書	33
7. 命令キャンセルについて	35
8. 位置情報取得機能	36
設定方法	36
位置情報の確認方法	36
9. 管理者設定	37
10. その他の機能	38
コンピューター検索機能	38
ソート機能	38
コンピューターの登録解除	38

システム動作環境

クライアントプログラム対応 OS

Microsoft Windows 11 (Windows 11 Home, Windows 11 Pro, Windows 11 Enterprise)

Microsoft Windows 10 (Windows 10 Home, Windows 10 Pro, Windows 10 Enterprise)

ハードウェア

パナソニックの Web ページ

「<http://panasonic.biz/pc/solution/menu/trustdelete/>」

をご確認ください。

管理サーバー アクセス環境

Microsoft Edge, Google Chrome を推奨

(スマートフォン環境)

以下、OS とブラウザにて動作を確認しております。

Android 7.0 Google Chrome (74.0.3729.157)

iOS 12.3 Safari (12.1.1)

命令受信用の通信用 UIM カードおよび通信契約 (Wi-Fi 契約のお客様を除く)

データ通信と SMS が利用可能な LTE 回線契約済みの UIM カード

※SMS を利用する機能をご利用の場合のみ必要です。該当する機能は次のページを参照してください。

- ※ 本製品は、1 つのライセンスにつき、1 つの OS にインストールできます。
- ※ 本製品をお使いになる前に、使用許諾契約書を必ずお読みください。
- ※ 製品の仕様は予告なく変更される場合があります。
- ※ 本製品のサービス登録、利用登録、ファイルのダウンロード、管理サイトの閲覧、メールの送受信などの機能のご利用には、インターネット接続環境が必要です。
- ※ インターネットのご利用にあたっては、インターネットプロバイダへの加入が必要です。また、インターネット接続に伴う通信費は、お客さまのご負担となりますので、ご了承ください。
- ※ LTE 対応の UIM カードの契約に関わる費用、毎月の基本料金、および SMS の送受信に必要な通信費はお客さまのご負担となりますので、ご了承ください。
- ※ スマートフォンからの管理サーバーへのアクセスは、表示に一部ずれが生じることがあります。OS やブラウザのバージョンで動作が異なる可能性があるため、すべての動作をサポートするものではありません。パソコンのブラウザによる操作を推奨いたします。

1. トラストデリートサービスの基本セットアップ

パナソニック版をご利用になるには以下の 5 つのステップに沿って管理サーバーとコンピューター側のクライアントプログラムのセットアップが必要です。

STEP1 UIM カード(SIM カード)の準備 (SMS を利用する機能をご利用の場合のみ必要)

本サービスは機能により管理サーバーとコンピューターの間で命令の実行やその結果の通知を SMS 経由で通信します。これらの機能を利用するには SMS の送受信が可能な UIM カードが必要です。ご利用前にお手元の UIM カードが LTE 対応であり、かつデータ通信と SMS が利用可能な回線契約が含まれているか必ずご確認くださいませようお願いします。データ通信のみの契約では SMS の送受信ができないためいくつかの機能をご利用いただくことができません。

なお、Wi-Fi 契約のお客様は SMS を利用する各機能をご利用いただくことはできません。

SMS を送受信できる SIM カードでも、ご使用されるコンピューターの機種が SIM ロックありの機種の場合、NTT ドコモ以外の SIM カードやドコモの FOMA ネットワークの UIM カードは本サービスではご利用いただくことができません。SIM ロックなしの機種の場合、NTT ドコモ、ソフトバンク、KDDI (au) の LTE 回線がご利用可能です。ご利用可能な通信事業者や契約プランについては、FAQ をご参照ください。<https://www.onebe.co.jp/support/bizsms2/faq.html#68>

コンピューター本体の取扱説明書の「ワイヤレス WAN の使い方」等の項目を参照してお使いのコンピューターに UIM カードを取り付けてください。

UIM カードを取り付けていなくてもプログラムのインストールや登録は可能です。その場合、プログラムの登録完了後に UIM カードを挿入し、コンピューターをインターネットに接続することでサービスがご利用可能となります。

UIM カードの契約に関わる費用、毎月の基本料金、および SMS の送受信に必要な通信費はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。

通信環境(SMS またはインターネット接続)別のご利用可能な機能一覧

	機能	SMS	インターネット接続※1
遠隔操作による命令	電源オン状態での BIOS ロック・消去	○	○
	電源オフ状態の BIOS ロック・消去	○	×
	電源オン状態の警報音・情報取得	○	×
	電源オフ状態の警報音・情報取得	○	×
自己発動機能	BIOS パスワード間違いによる BIOS ロック・消去・通知	○	○※2
	一定時間電源を入れないことによる BIOS ロック	○	○※2
	起動時に UIM カードがない場合の起動制限	○	×
	起動時に無線スイッチが OFF の場合の起動制限	○	×
	電源オン状態の GeoFence	○	○※2
	電源オフ状態の GeoFence	○	×

※1 有線・無線を問わずインターネット接続により利用可能な機能です。(SMS 通信環境は不要です)

※2 実行環境によっては、セキュリティアクション実行後の完了通知が届かない場合があります。

STEP2 設定メニューの準備

ここではクライアントプログラムの動作を決める設定メニューについて説明します。

管理サーバーにログイン ID とパスワードでログインします。

左メニューで[設定]を選択するとメニューバーが縦に開いて A01 から A04 および S01 から S04 が表示されます。**パナソニック版は S01 から S04 のみを使用します。**

※注意	パナソニック版の対象設定は S01 から S04 のみです。A01 から A04 はスタンダード版でのご利用になります。
-----	--

- ① 左側の[設定]メニューをクリックしてサブメニューから[S01]をクリックします。
- ② [設定名称]: 設定に 10 文字以内でオリジナルの名称を付けることができます。デフォルトは設定 S01 です。
- ③ 認証間隔: 消去命令の取得、設定変更など各種設定情報をサーバーから取得するためにコンピュータがサーバーにアクセスする通信間隔を選択します。5 分、15 分、30 分、60 分から選択できます。
- ④ プロキシ設定をロックする: チェックを入れるとクライアントプログラムの「ネットワーク設定」画面をロックしてコンピュータ側での入力を無効にできます。ユーザーが勝手にプロキシ設定を変更して通信できなくなるのを防ぎます。
- ⑤ 位置情報を利用する: チェックを入れると GPS、Wi-Fi の機能を利用して定期的に位置情報を取得して管理サーバーに送信します。取得した位置情報は各コンピュータの詳細画面で最大 15 件まで確認できます。
- ⑥ 位置情報優先オプションを有効にする: チェックすると情報取得命令の発行で位置情報が取得できない場合に GPS をフル稼働させて位置情報を再取得するオプションです。有効にすると一回の情報取得命令で最大 2 通の命令を発行します。本オプションは位置情報の取得を保証するものではありません。

アクション設定について

以下の⑦から⑭は管理サーバーから命令を発行することなく、コンピューターの状態が事前に指定した条件と一致した場合に自動で消去やロック、シャットダウンを実行するセキュリティ機能です。ご利用に際してはくれぐれもご注意ください。

お使いにならない場合はプルダウンから「OFF」を選択してください。

- ⑦ BIOS パスワード入力失敗時のアクション
コンピューターの起動時に BIOS パスワードの入力を規定回数を超えて間違えた場合にコンピューターを制御する機能です。「OFF」「通知」「ロック」「1 回消去」「3 回消去」「SecureErase」から選ぶことができます。「通知」を選択するとパスワードの入力失敗が発生した時に管理サーバーに報告があがります。
- ⑧ BIOS パスワード入力回数: ⑦の BIOS パスワード失敗の許容回数です。3 回、10 回、30 回、100 回から選択できます。

※ヒント	本機能を有効にすると BIOS パスワードの入力に連続で失敗した場合、4 回目以降はビープ音とともに「システム管理者にご連絡ください」と画面に表示されます。ビープ音は<Enter>を押すと停止します。
------	--

- ⑨ 一定期間電源を ON にしない時のアクション: 一定時間コンピューターの電源を入れなかった時にコンピューターを制御する機能です。「OFF」「ロック」から選ぶことができます。
- ⑩ タイマー時間: ⑨のタイマー時間を「12 時間」、「24 時間」、「48 時間」、「72 時間」から選択してください。
- ⑪ 起動時に UIM カードが検出できないときのアクション: 「警告表示してシャットダウン」を選択するとコンピューターの起動時に UIM カードがない場合はコンピューターをシャットダウンします。
- ⑫ 無線スイッチが OFF の時のアクション: 「警告表示してシャットダウン」を選択するとコンピューターの起動時に無線スイッチが OFF の場合には電源を入れても Windows を起動することができなくなります。これによりコンピューターの使用時は SMS を利用可能な状態にすることができます。

※注意	本機能を有効にすると機内モードでのコンピューターの使用ができませんのでご注意ください。
-----	---

- ⑬ 指定のエリア外で起動したときのアクション (GeoFence): 指定のエリアからコンピューターが出た場合にコンピューターの制御を実行する機能です。「OFF」「通知」「ロック」から選択できます。「通知」を選択するとコンピューターが指定エリアを出た時に管理サーバーに報告があがります。
- ⑭ 位置情報入力ボタン: ボタンを押すと別の画面が開いて⑬のためにコンピューターを利用する許容エリアを指定します。指定方法は「緯度」「経度」とそれを中心とする「半径」です。設定方法の詳細は「指定のエリア外で起動したときのアクション (GeoFence)」の項を参照してください。
- ⑮ 消去時の SD カード消去: 「ON」を選択すると消去実行時にコンピューターに挿入されている SD カードを消去します。本機能をサポートしている機種はリンク先の【パナソニック版対象機種】をご確認ください。

(https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_letsnote_biz-solution_operation_list)

※注意	本機能は指定の Let's note 機種およびクライアントプログラム 8.3.60 以降が必要です。
-----	---

- ⑯ 以上すべての設定が完了したら、画面の右側にある[設定保存]ボタンを必ず押してください。

※注意	[設定保存]ボタンを押すまで設定項目は保存されません。
※注意	本メニューの設定や機能は管理サーバー側で設定した直後に稼働するものではありません。設定完了後にコンピューターがインターネット経由で管理サーバーに接続して認証が成功したあとにクライアントプログラムに動作設定が反映されます。

STEP3 クライアントプログラムのインストールと利用登録

次にコンピューター側にクライアントプログラムをセットします。
クライアントプログラムのインストールの詳細は TRUST DELETE Biz クライアントマニュアルをご覧ください。

プログラムのインストール

SMS を利用する各機能を利用する場合には、インストールの前にコンピューターに UIM カードが正しく挿入されているか確認してください。UIM カードはプログラムのインストールに必須ではありませんが、インストールに際してあらかじめコンピューターに実装しておくことをおすすめします。管理サイトにログインして左メニューの[サポート]ボタンをクリックします。別ウインドウでサポートページが開いたら、メニューから「プログラムのダウンロード」をクリックします。[パナソニック版クライアントプログラム]を選択してコンピューターに保存します。ダウンロードしたインストールプログラム(TDSMS2Setup.exe)をダブルクリックしてインストールしてください。

タフパッドおよびタフブックをご利用のお客様へ

トラストデリート パナソニック版をタフシリーズ(タフパッド、タフブック)でご利用になる場合、クライアントプログラムをインストールする前に Concealed Mode を「無効」にしておく必要があります。

Concealed Mode を無効にするには:

1. F2 キーを押下しながらパソコンの電源を入れ BIOS Setup Utility を起動します
2. メイン⇒Concealed Mode 設定から Concealed Mode を無効に設定します
3. 終了⇒設定を保存して再起動を実行します

Concealed Mode の機能説明についてはタフシリーズ本体のマニュアルを参照ください。

利用登録

インストールが終了したら以下の手順で必ず利用登録を実行してください。

利用登録にはあらかじめ 8 桁のシリアル番号をご用意ください。シリアル番号は[ユーザー登録完了のご案内メール]に記載のほか、[管理者]メニューでもご確認いただくことができます。

シリアル番号はライセンス証書に記載のライセンス番号とは異なりますのでご注意ください。

デスクトップのアイコンをクリックしてトラストデリートクライアントプログラムを起動します。



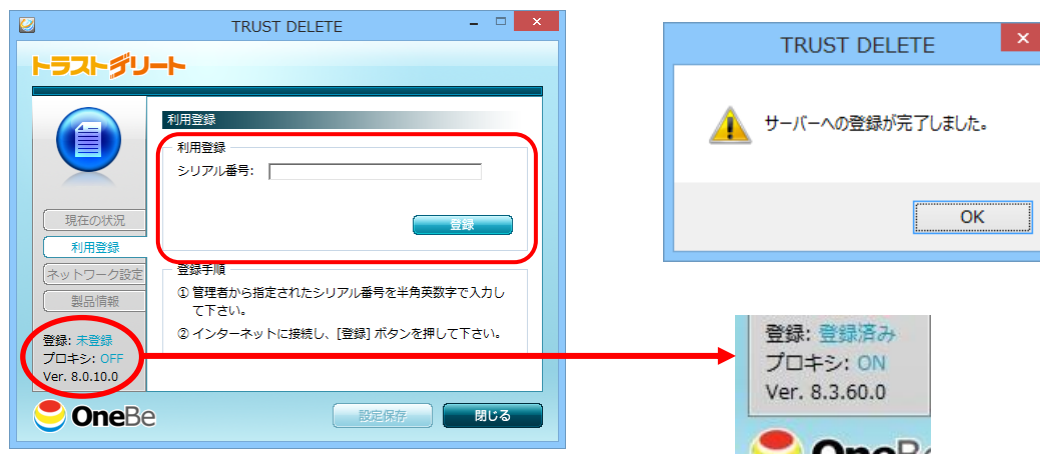
トラストデリート

デスクトップ上のアイコン
をダブルクリックします。

プログラム画面が起動したらメニューから利用登録を選択します。コンピューターをインターネットに接続してください。

8 桁の[シリアル番号]を画面に入力して、[登録]ボタンをクリックします。

※注意	ネットワークの状態により登録が正常に完了するまで数分を要する場合があります。従って[登録]ボタンの押下直後はコンピューターのシャットダウンや再起動、インターネットからの切断を実行しないでください。
-----	--



登録が成功すると「サーバーへの登録が完了しました。」とメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックして閉じます。以上で利用登録が完了です。

プログラムの画面左下に「登録済み」と表示されていることを確認してください。

※「登録済み」の表示が出るまでに数分かかる場合があります。

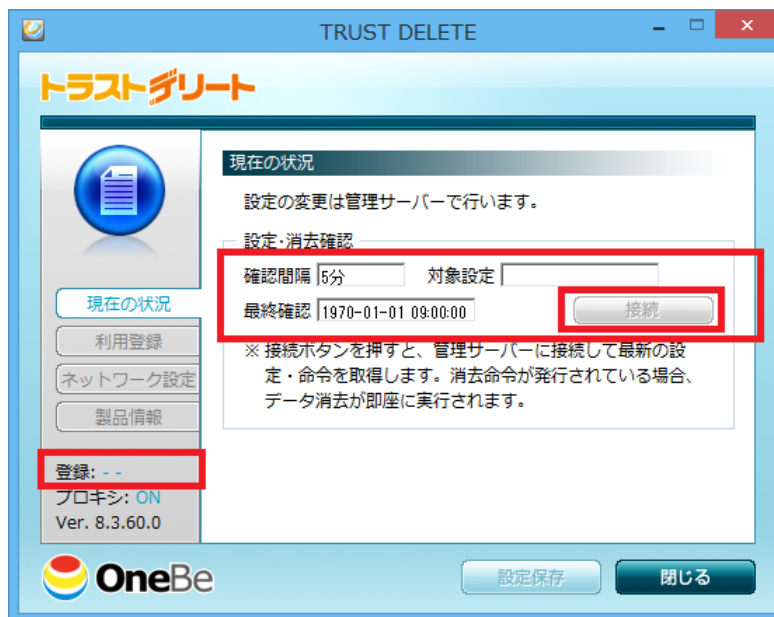
※注意	プログラムの登録完了後に UIM カードを入手した場合は、UIM カードをコンピューターにさしたあと、必ずコンピューターをインターネットに接続してください。自動的に UIM カードの番号が管理サーバーに通知され登録されます。番号の登録が完了するまでは SMS による各種命令機能はご利用になれません。
-----	--

登録実行から数分経過しても「登録済み」と表示が出ない（登録に失敗している）場合**1. プログラムの画面左下が「未登録」と表示されている**

- ・シリアル番号を確認するか、インターネット接続を確認して登録をやり直してください。登録失敗の場合はエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの詳細はFAQを参照してください。
- ・プロキシサーバーを導入しているネットワーク環境では登録に失敗する場合があります。[ネットワーク設定]メニューでプロキシの設定を確認して再度お試しください。
- ・登録ボタンを押したときに「このPCはすでに登録されています」と表示されることがあります。この場合は[再試行]をクリックしてください。

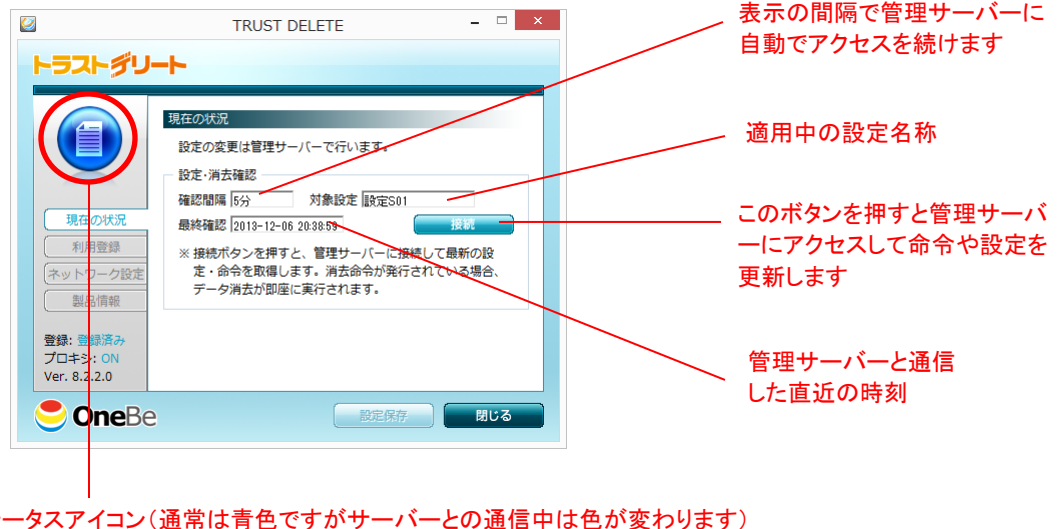
2. プログラムの画面左下の「登録」に「--」が表示されている

図のように「確認間隔」に「5分」の表示があり、「対象設定」が空白で「接続」ボタンが押せない状態の場合、登録が正常に終了していない可能性があります。お手数ですがプログラムを一度アンインストールして再インストールし、もう一度登録作業をやり直してください。



STEP4 動作と設定の確認

利用登録が完了するとクライアントプログラムは Windows 稼働中には常にバックグラウンドで動作しています。ここではプログラムの画面の機能を説明します。



管理サーバーとの認証アクセスのタイミングは？

コンピュータの毎起動時、スリープや休止からの復帰時にサーバーにアクセスを試みます。また決められた間隔で定期的に認証を実行するため、インターネットに接続している間に自動で最新の設定に更新されます。従って通常の利用では特に設定や操作は不要です。

管理サーバーの最新設定をすぐに取り込むには？

コンピュータをインターネットに接続して[接続]ボタンをクリックします。管理サーバーとの認証中は画面左上の丸いステータスアイコンがオレンジ色に変わります。(定期的自動認証時もオレンジ色で表示されます)

プロキシサーバーをご利用のネットワーク環境では？

[ネットワーク設定]メニューでネットワーク環境に応じた設定を行ってください。クライアントプログラムは初期状態では Internet Explorer のプロキシ設定を参照して読み込む設定になっています。自動構成および手動によるプロキシサーバーの設定も可能です。※認証が必要なプロキシサーバーには対応していません。

ネットワーク設定の画面が操作できないときは？

設定を変更できない場合は管理者によって誤操作防止のためにロックされている状態です。管理者にお問い合わせください。

※重要	インストール完了後は必ずコンピュータを再起動してください。 利用登録を完了しなければ本プログラムは正しく動作しません。利用登録を必ず行ってください。
-----	---

STEP5 クライアントプログラムの登録確認と最後の設定

ここではご利用前の最後の設定を説明します。重要なので必ず確認してください。

1. 管理サーバーにログインして[ホーム]画面を開きます。
2. 登録したコンピューターがリストに表示されていることを確認してください。

管理メニュー

- ホーム HOME
- 設定 CONFIG
- 履歴 HISTORY
- グループ管理 GROUP ADMIN
- 管理者 ADMIN
- サポート SUPPORT
- ログアウト LOGOUT

ホーム

コンピューター検索 ▲

接続日時検索 ▲

CSV編集

インポート エクスポート

コンピューター一覧

表示をリセット

最大表示数 25件 ▼ 登録解除

タイプ	コンピューター名	利用者	発動条件	ステータス	備考	最終接続日時	選択
	SX3SUMMER					2014-05-27 01:40:48	<input type="checkbox"/>
	WIKI-SHUTSUKUBU					2014-05-27 01:37:14	<input type="checkbox"/>
	ITAL-SAN	002	ロック	実行中	1950	2014-05-26 23:43:10	<input type="checkbox"/>
	YF-W7X64-ES		ロック	命令発行		2014-05-26 17:03:43	<input type="checkbox"/>

Click!

[14 (1 - 14)] 1

登録解除

©Copyright OneBe, Inc. All rights reserved

※ヒント

コンピューター一覧の左端に2種類のアイコンが表示されることがあります。パナソニック版とスタンダード版(インターネット消去のみ)によって表示されるアイコンが異なります。両者を組み合わせてご利用の場合、アイコンでタイプを見分けることができます。



パナソニック版



スタンダード版

3. コンピューター名をクリックすると[詳細情報]が表示され、それぞれのコンピューターの詳細設定および命令発行ができます。



詳細情報

命令ボタン

ピープ



情報取得



ロック



消去



設定:	設定S03 ①	⑮ 設定保存	キャンセル
コンピューター名:	SX3SUMMER ②		
解除パスワード:	1013118903	PW変更 ③	
利用者:		④	
所属グループ:		⑤	
備考:	⑥		
電話番号:	08012341234 ⑦		
機種品番:	CF-SX3EFRTS ⑧		
製造番号:	3IKSA00924		
SSDシリアル:	Y2AS1014TADY ⑨		
プログラムVer:	Ver. 8.3.25.0 ⑩		
登録日時:	2014-06-14 21:02:13 ⑪		
最終履歴:	2014-06-14 21:34:58 完了 ⑫		
⑬ 以前の履歴を見る	⑭ 位置情報を表示		

- ① 設定: このコンピューターで使用する設定番号をプルダウンから選択します。設定 S01 から S04 のうち通常は S01 を選択してください。
- ② コンピューター名: コンピューターの利用登録時に自動で取得します。
- ③ 解除パスワード: ロック機能を実行後にコンピューターのロックを解除するパスワードです。初期パスワードはランダムに生成された 10 桁の数値です(詳細はロック機能を参照してください)
- ④ 利用者: このコンピューターの利用者の氏名を入力してください。(空白でも支障ありません)
- ⑤ 所属グループ: このコンピューターを任意のグループに割り当てることで部署単位での管理を可能にします。部署別の管理が不要な場合は空白のままでも支障ありません。詳しくはインターネット版サーバーマニュアルのグループ管理の項をご覧ください。
- ⑥ 備考: 任意の補足情報を最大 500 文字まで入力できます。(空白のままでも支障ありません)
- ⑦ 電話番号: コンピューターでご利用中の UIM カードの番号が表示されます。UIM カードが挿入されていない時は空白です。
- ⑧ 機種品番 & 製造番号: コンピューターの機種品番と製造番号が表示されます。
- ⑨ SSD シリアル: コンピューターに搭載されている SSD または HDD のシリアル番号です。
- ⑩ プログラム Ver: クライアントプログラムのバージョン番号です。
- ⑪ 登録日時: このコンピューターが利用登録した日時を表示します。
- ⑫ 最終履歴: このコンピューターで発生した直近のアクションのステータスとその日時を表示します。
- ⑬ 以前の履歴を見る: このコンピューターに対する操作履歴を一覧で表示します。
- ⑭ 位置情報表示ボタン: このコンピューターの位置情報を別ウインドウで表示します。詳しくは位置情報機能の項をご覧ください。
- ⑮ 設定保存: 以上の入力設定が完了したら、必ず[設定保存]ボタンを押してください。

※注意	[設定保存]ボタンを押すまで設定はシステムに反映されません。
※ヒント	[キャンセル]ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
※ヒント	利用者氏名や備考欄の情報を変更する場合は現在の入力をいったん消去してから新たに値を上書き入力してください。

4. 上記の設定が完了し、[設定保存]を押すと [S01]のプルダウンの枠がピンク色に変わります。設定のプルダウンがピンクになっているときは設定の更新以降にそのコンピューターが管理サーバーにアクセスしていない状態を表しています。コンピューターが管理サーバーにアクセスして最新の設定情報を取得すると表示がピンクから白に戻ります。

※重要※

管理サーバーで設定を変更しても、直ちにその設定がクライアントプログラムに反映されるわけではありません。新しい設定が反映されるためにはクライアントプログラムが管理サーバーと認証する必要があります。管理サーバーで設定を変更するたび、クライアントプログラムの[接続]ボタンを押下して手動で認証を実行して最新の設定を取り込むことをおすすめします。

2. コンピューター紛失時の消去命令の発行

万一コンピューターを紛失した際は、以下の手順に沿ってコンピューターに消去命令を発行します。

重要 あらかじめご注意ください

消去命令が実行されると OS やバックアップ領域を含むコンピューターのディスク上のデータはすべて消去されます。再びコンピューターをご利用になるには OS をインストールしてセットアップする必要がありますのでご注意ください。コンピューターのセットアップにはあらかじめリカバリーディスクが必要です。詳しくはコンピューター本体の取扱説明書をご覧ください。

消去命令発行の手順

STEP1 管理サーバーにログイン

ID とパスワードで管理サーバーログインします。

STEP2 命令を発行するコンピューターを確認

紛失したコンピューターをコンピューター名や利用者氏名をもとに特定して、コンピューター名をクリックし詳細情報画面を開きます。

STEP3 消去命令を発行

詳細情報画面が開いたら画面右上の[消去]ボタンを押します。

The screenshot shows the '詳細情報' (Detailed Information) page for a device named 'SX3SUMMER'. At the top, there is a navigation bar with buttons: 'ホーム' (Home), 'ピープ' (Peep), '情報取得' (Information Acquisition), 'ロック' (Lock), and '消去' (Delete). The '消去' button is highlighted with a red rectangular box, and a blue callout bubble with the text 'Click!' points to it. Below the navigation bar, the main content area contains various fields for device information, including '設定' (Settings) with a dropdown menu set to '設定S03', 'コンピューター名' (Computer Name) as 'SX3SUMMER', '解除パスワード' (Release Password) as '1013118903', '利用者' (User), '所属グループ' (Affiliation Group), and '備考' (Remarks). At the bottom, there are fields for '電話番号' (Phone Number), '機種品番' (Model Number), '製造番号' (Manufacture Number), 'SSDシリアル' (SSD Serial), 'プログラムVer' (Program Version), '登録日時' (Registration Date/Time), and '最終履歴' (Final History). A '位置情報を表示' (Display Location Information) button is also present.

命令発行の確認画面が表示されたらプルダウンからご希望の消去方式を選択後、[消去に同意]の左枠にチェックを入れてから[発行]をクリックします。[消去に同意]にチェックを入れないと発行ボタンを押すことができません。

※[発行]を押して命令を発行するとキャンセルできませんのでご注意ください。

命令発行時に次の 3 種類の消去方式を選択することができます。

消去命令	消去命令の方式について
3回消去	DoD 消去方式(3 回書き込み)による安心・安全な消去です。 ※DoD 消去方式とは米国防総省の定める消去方式で、SSD/HDD に 3 回上書き書き込みを行ないます。
1回消去	ゼロを 1 回書き込む消去方式です。3 回消去に比べ短時間で消去完了します。 (バッテリー残量が少ない場合などにおすすめです)
Secure Erase (SE)	SSD 向けの高速消去方式。ただし HDD に対してこの命令を発行した場合は、消去時間が大幅にかかりますのでご注意ください。

消去命令が発行されると、命令ボタンが[命令発行]に変わり、ボタンが赤く点滅します。
同時にほかの3つのボタンはグレイになり使用不可能になります。



これで消去命令の発行は完了です。ホーム画面に戻ると発動条件に[命令発行/X 回消去(または SE)]、ステータスには[命令発行]と表示されます。SE は SecureErase の略です。

コンピューター側で実際に消去プログラムが発動するとステータスが[実行中]の表示に変わります。

コンピューター側で消去が完了するとボタンが[完了]に変わります。



ホームや履歴メニューのステータスが[完了]と表示されます。
ホーム画面および詳細画面に下記のメッセージが表示されます。

(コンピューター名)は命令が完了しました。 [詳細を見る](#)

パナソニック版では一度消去完了になるとそのコンピューターへ再び命令を発行することはできません。

※注意	消去命令を発行してもコンピューターが SMS またはインターネット接続による命令を受信するまでは実際に消去は開始されません。
※注意	消去命令を発行してからコンピューター側で実際の消去が開始されるまでに時間がかかる場合があります。コンピューター側で消去が完了する時間はコンピューターのディスク容量や電源状況によって変動します。
※注意	コンピューター側で消去が完了しても消去完了結果をサーバー側で正しく認識できない場合があります。従って、実際には消去が終わっていても命令発行や実行中の表

	示のままになることがあります。
※注意	消去命令を発行中コンピューターは設定変更や解除ができません。設定変更や解除が必要な場合は、消去が完了するまでお待ちください。

消去命令を受信した際のコンピューターの挙動について

コンピューターの状態	消去命令を受信したときの挙動
電源オフ・休止状態	命令を受信すると自動でコンピューターの電源を投入して消去を実行します。
Windows 動作中	命令を受信するとコンピューターを強制的に再起動してから消去を実行します。
スリープ	命令を受信するといったんコンピューターをスリープから復帰します。復帰してからコンピューターを強制的に再起動してから消去を実行します。

いずれの場合も消去命令を発行してから消去が開始されるまでに数分程度かかることがあります。Windows が動作中やスリープ状態では、消去するためにコンピューターを強制的にシャットダウンするまでに時間を要することがあります。

消去命令実行中のコンピューターの挙動について

消去プログラムを実行中のコンピューターは電源が入っていますが、ディスプレイには何も表示されません。

消去プログラムの実行中にバッテリーの残量がなくなると消去プログラムは停止します。しかし、コンピューターが電源を確保した時点で消去プログラムが再開されます。

消去したコンピューターが戻ってきたら

消去完了したコンピューターは電源ボタンを入れても Windows を起動できません。コンピューターを再び使用するにはコンピューター本体の「取扱説明書 活用ガイド」の「困ったとき」「再インストールする」の項の「リカバリーディスクを使う」を参照して工場出荷状態に戻してください。

消去命令の完了を確認できない場合

命令発行から 3 時間が経過して画面に「(コンピューター名)は命令が正しく実行されなかった可能性があります。もう一度お試しください。」と表示されることがあります。これはシステムが、3 時間以内に消去の完了を確認できない状態をあらわします。ステータスレポートは「システムによる自動キャンセル」と表示されます。消去ボタンが有効になりますので、再度命令を発行することが可能になります。

3. ロック命令の発行

ロック命令を発行するとコンピューターを遠隔操作でロックすることができます。ロックされたコンピューターは解除パスワードを入力してロックを解除して通常通りに Windows を起動することができます。

ロック命令発行の手順

STEP1: ホーム画面でロックしたいコンピューターを選択し、コンピューター名をクリックして詳細情報画面を表示します。

STEP2: 命令発行

画面右上の[ロック]ボタンをクリックし、確認画面が表示されたら[OK]を押します。

いったん命令を発行すると取り消しはできません。ご注意ください。

STEP3: ロック実行を確認

ホーム画面の発動条件に[命令発行/ロック]と表示され、ステータスが[命令発行]と表示されます。

コンピューター側でロック命令が受信されるとステータスの表示が[完了]に変わります。

ホーム画面および詳細画面に下記のメッセージが表示されます。

(コンピューター名)は命令が完了しました。 [詳細を見る](#)

※注意	Windows 作動中またはスリープ状態のコンピューターに対してロック命令を実行すると、保存していないお客様のデータは失われます。ご注意ください。
※ヒント	コンピューターが命令を受信してもその結果を正確にサーバー側で受け取れない場合があります。そのため実際にはコンピューターがロックされていても管理サイト上の表示は[命令発行]の状態が継続することがあります。

ロック命令を受信した際のコンピューターの挙動について

コンピューターの状態	ロック命令を受信したときの挙動
電源オフ・休止状態	命令を受信すると自動でコンピューターの電源を投入してロックします。
Windows 動作中	命令を受信するとコンピューターをシャットダウンしてロックします。
スリープ	命令を受信するといったんコンピューターをスリープから復帰します。復帰してからコンピューターを強制的にシャットダウンしてロックします。

ロック命令実行中のコンピューターの挙動について

コンピューターの電源を入れるとロック解除の画面が表示されます。ロックを解除しない限り Windows を起動することはできません。また、解除するまでは BIOS セットアップユーティリティもご利用できません。

ロックの実行を確認できない場合

命令発行から 3 時間が経過して画面に「(コンピューター名)は命令が正しく実行されなかった可能性があります。もう一度お試しください。」と表示されることがあります。これはシステムが、3 時間以内にロックの完了を確認できない状態をあらわします。ステータスレポートは「システムによる自動キャンセル」と表示されます。

コンピューター登録直後の注意点

プログラムをインストールして登録した直後はロックボタンのみが一時的に図のように使用できない状態になります。これはロック解除パスワードの設定完了通知がコンピューターから届いていない状態を表します。設定完了通知を受信するとボタンは自動で有効になります。



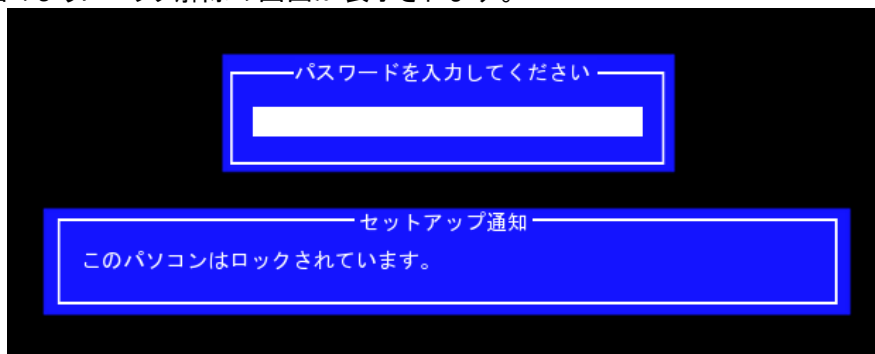
通常、プログラムの登録から 2 分以内にロックボタンが有効になります。登録後しばらくしてもロックボタンがグレイのままになっている場合は、コンピューターをインターネットに接続した状態で再起動して 2 分程度してからボタンの状態を確認してください。

ロックしたコンピューターが戻ってきたら

ロックされたコンピューターは以下の手順で解除してください。

ロックされたコンピューターを電源ボタンで起動します。

図のようにロック解除の画面が表示されます。



あらかじめ指定した解除パスワードを入力して Enter キーを押します。

初回の解除パスワードはランダムに生成された 10 桁の数値です。管理サイトで解除パスワードを変更することも可能です。

パスワード入力を 3 回間違えると自動で電源が切れます。再び電源ボタンをスライドして起動するとパスワード画面が表示されますので、入力をやりなおしてください。

ロック中のコンピューターのパスワードをリセットまたは変更することはできません。パスワードは忘れないようにくれぐれもご注意ください。

解除パスワードの確認方法

1. 管理サイトにログインして、「ホーム」の「コンピューター一覧」画面から該当のコンピューター名を選択します。
2. 「詳細情報」画面の「現在有効なパスワード」にカーソルを当てて、ポップアップ表示される文字列が現在の解除パスワードです。
※「現在有効なパスワード」の表示がない場合は、「解除パスワード:」の欄に表示のパスワードが現在有効なパスワードです。

※ヒント	<p>お客様が解除パスワード入力欄に入力した文字列と「<u>現在有効なパスワード</u>」に表示される文字列は一致しませんが異常ではありません。新しいパスワードを管理サイト側で変更したあとに、コンピューターがサーバーへ認証通信することではじめてパスワードが更新されます。管理サイト側で変更を実施した直後はまだ新しいパスワードがコンピューター側に反映されていません。「<u>現在有効なパスワード</u>」にカーソルを当てると表示される文字列がその時点でコンピューター側に保存されている最新のパスワードとなります。</p> <p>解除パスワードの変更方法は下記をご覧ください。</p>
------	--

解除パスワードの変更方法

解除パスワードは管理サイトで2通りの方法で変更することができます。必ず以下の手順で変更してください。

1. コンピューターをインターネットに接続する。
2. 管理サイトにログインして、「ホーム」の「コンピューター一覧」から該当のコンピューター名を選択する。
3. 「詳細情報」画面の「解除パスワード:」の欄の右横に「PW 変更」ボタンが表示されていることを確認する。
(「PW 変更」ボタンが表示されていない場合は、コンピューターを再起動してインターネット接続してしばらく待ってから再度、詳細情報画面を開いて確認してください。)
4. パスワードの変更方法を次の A または B から選択します。
A: 新しいランダムパスワードを自動生成する場合
「解除パスワード」欄の右横にある「PW 変更」ボタンをクリックする。
B: 任意のパスワードを利用する場合
「解除パスワード:」の欄に表示されているパスワードを消して、新しいパスワードを入力する。
※B の方法で使用できるのは 4 から 30 文字の英数字のみです。日本語や記号、空白は入力できません。
※A も B も 5 以降の操作を必ず実行してください。
5. 画面右側の「設定保存」ボタンをクリックする。
6. 「解除パスワード:」の欄がグレイに変わり「PW 変更」ボタンが表示されないのを確認する。
7. コンピューターのクライアントプログラムを起動して「現在の状況」メニュー内の「接続」ボタンをクリックしてサーバーへ認証通信を行う。
8. 管理サイトの詳細情報画面に戻って「PW 変更」ボタンが再び表示されていたら解除パスワードの変更は完了です。
(「PW 変更」ボタンが表示されずに「解除パスワード:」の欄がグレイのままの場合、コンピューターをインターネットに接続した状態で再起動して、手順 7 と同様に「接続」ボタンをクリックし、数分後

に管理サイトの画面を[F5]キーで更新してください。)

※注意	「解除パスワード:」の欄に 31 文字以上の文字列をペーストした場合、先頭文字列から最大 30 文字までしか貼り付けることができず、31 文字目以降の文字列はカットされます。
※注意	「解除パスワード:」の欄を空白にして設定を保存することはできません。
※注意	変更する解除パスワードは、1 つ前に設定された有効な解除パスワードと異なる文字列でなければなりません。
※ヒント	変更した解除パスワードがコンピューターへ反映されるまでの間[PW 変更]ボタンは一時的に表示されません。その間はパスワードの変更は受け付けられません。
※ヒント	「 <u>現在有効なパスワード</u> 」の表示は、「解除パスワード:」の欄がグレイ状態のときに表示されます。そのとき「解除パスワード:」の欄にグレイで表示されている解除パスワードはコンピューターへ反映される前のパスワードで、その時点ではまだ有効にはなっていません。

画面上に下記のメッセージが表示された場合、解除パスワードの設定に失敗しています。

(コンピューター名)は解除パスワードが正しく設定されていません。クライアントプログラムを再インストールしてください。

解除パスワードをリセットするために、クライアントプログラムを一度アンインストールしてから、再度インストールと登録をやり直してください。

4. 情報取得命令とビーブ命令

情報取得命令とは

コンピューターに最新の情報の通知を要求する機能です。命令を送信することでコンピューターから次の情報を取得することが可能です。

- 電源状態: コンピューターがシャットダウンかまたは動作中かをあらわします
- AC 電源の有無
- バッテリー残量
- 位置情報: 現在のコンピューターの位置をあらわします
- SSD/HDD シリアル: 現在搭載中の SSD/HDD のシリアル番号をあらわします

情報取得命令を発行してもコンピューター側では消去やロックは実行されません。

情報取得命令を発行後にステータスが[完了]になったら、履歴メニューから該当する命令のステータスレポートを開いて、最新の情報を確認することができます。

※注意	本機能は UIM カードが有効で SMS の送受信が可能な場合のみ使用できます。 Wi-Fi 契約のお客様は使用できません。
※注意	対象設定で[位置情報優先オプション]を有効にしている場合、一回の命令で最大 2 通の情報取得命令を実行します。この場合、2 通目の命令はステータスレポートの発動条件に「位置情報優先」と表示されます。本オプションを有効にしても、電波の状態や環境により位置情報の取得が不可能な場合があります。

ビーブ命令とは

遠隔操作でコンピューターにビーブ(警告音)を鳴らして、発見を促す機能です。建物内で行方不明になった場合に便利です。

命令を発行するとコンピューターが警告音を 30 秒間発します。

※注意	本機能は UIM カードが有効で SMS の送受信が可能な場合のみ使用できます。 Wi-Fi 契約のお客様は使用できません。
※注意	バージョン 8.3.28 をご利用のコンピューターでは電源が入っていない状態でのみビーブ(警告音)を発することができます。 バージョン 8.3.40 以降をご利用のコンピューターではビーブ(警告音)は、Windows が起動している状態、およびコンピューターの電源が入っていない状態でも警告音を発することが可能です。

5. コンピューター側でのセキュリティ機能

ロックや消去命令のほかに、あらかじめ設定をコンピューター側で保持して、設定された条件によってアクションを行うことができます。

BIOS パスワードを規定回数失敗した時

BIOS のスーパーバイザーパスワード設定を行うとセットアップユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。このパスワードを設定回数間違えた場合には、ハードディスクの消去やロックを実行させることが可能です。

※ヒント	BIOS パスワード失敗の許容回数は、3 回、10 回、30 回、100 回より選択することが可能です。
※ヒント	BIOS パスワードを規定回数失敗した時のアクションは、通知、ロック、1 回消去、3 回消去、SecureErase より選択することが可能です。
※ヒント	ロックを解除するためには、ロック解除パスワードを入力する必要があります。ロック解除パスワードは管理コンソールにログイン後、ホーム画面に一覧からコンピューター名をクリックするとそのコンピューターに設定されているロック解除パスワードを確認することができます。

一定期間電源を ON にしない時

一定期間電源を ON にしない場合には、コンピューターをロックさせることができます。

※ヒント	一定期間電源を ON にしない時のタイマーは 12 時間、24 時間、48 時間、72 時間、2 週間より選択することが可能です。
※ヒント	一定期間電源を ON にしない時のアクションは、ロックのみ選択することが可能です。
※ヒント	ロックを解除するためには、ロック解除パスワードを入力する必要があります。ロック解除パスワードは管理コンソールにログイン後、ホーム画面に一覧からコンピューター名をクリックするとそのコンピューターに設定されているロック解除パスワードを確認することができます。
※注意	タイマーは PC 起動時に設定されます。したがって、Windows 起動中にサーバーからタイマー設定を実施した場合、そのままシャットダウンしてしまうとまだ変更は反映されていません。ただし BIOS に設定するには管理コンソールで設定後、一度本体を再起動してください。
※注意	電源に接続されていない状態で、バッテリーが空もしくは、抜かれた場合にはタイマーは停止します。

起動時に UIM カードが検出されない時

起動時に UIM カードが検出されない場合には、警告メッセージを表示して、シャットダウンを行うことができます。

※注意	本機能ではロックや消去を行うことはできません。 Wi-Fi 契約のお客様は使用できません。
-----	--

起動時に無線スイッチが OFF になっている時

起動時に無線スイッチが OFF になっている場合には、警告メッセージを表示して、シャットダウンを行うことができます。

※注意	本機能ではロックや消去を行うことはできません。
-----	-------------------------

指定のエリア外で起動したときのアクション(GeoFence)

あらかじめ正規の使用エリアを指定しておき、そのエリア外に出たことを検知すると、ロックや管理者への通知を実施する機能です。

エリアの指定方法

エリアの指定は、管理コンソールにログイン後、設定 S01～設定 S04 の指定のエリア外で起動したときのアクション(GeoFence)の「位置情報入力」から登録することができます。

位置情報設定

指定範囲の中心部を地図の中心にあわせてください。

世界・日本・東京都・東京

道路

250 m

設定: 設定1

緯度: 35.691486

経度: 139.693753

半径: 1000 m ※半径を必ず指定してください。

☒ この設定を使用する

ピンの位置に戻す

中心の位置に設定

登録

キャンセル

- ・ 別画面が開いたらプルダウンから[設定 1]を選択します。
- ・ 画面上の地図をドラッグして利用許可エリアの中心点を画面中央の赤い＋マークにあわせま。[緯度・経度]は自動で入力されます。[ピンの位置に戻す]を押すと移動前の場所に戻ることができます。
- ・ エリアの中心点が決定したら[中心の位置に設定]を押すと＋マークにピンが移動します。
- ・ [半径]にメートル単位で数字を入力すると地図上にエリアが円で表示されます。半径は 10

27

～10000000 メートルの範囲で入力してください。

- ・ エリアが決まったら[この設定を使用する]にチェックを入れて[登録]ボタンを押します。

最大 5 つのエリアを登録できます。プルダウンで設定 2-5 を選択して上記と同じ手順で操作してください。

※ヒント	エリアの登録後に使用しなくなった場合は、不要な設定番号をプルダウンから選択し、[この設定を使用する]のチェックマークを外して[登録]ボタンを押してください。
※注意	複数の設定を登録する際は、設定ごとに[登録]ボタンを毎回押して保存してからでないと次の設定に移動することができません。

エリアの説明

エリア外とは地図上で指定した領域以外とは限りません。コンピューターが取得する位置情報には計測のたびに異なる精度が生じます。計測によって取得した位置情報が、地図上で指定したエリアおよび精度を含めたエリアの範囲外にいる場合には、エリア外と判定されセキュリティアクション実行の対象となります。



※ヒント	指定エリアの登録は、緯度、経度、半径を登録後、「この設定を使用する」にチェックを入れて[登録]ボタンを実行してください。この位置情報は 5 か所登録することが可能です。
※ヒント	ロックを解除するためには、ロック解除パスワードを入力する必要があります。ロック解除パスワードは管理コンソールにログイン後、ホーム画面に一覧からコンピューター名をクリックするとそのコンピューターに設定されているロック解除パスワードを確認する

	ことができます。
※注意	GeoFence による発動には GPS が取得した位置の誤差情報が考慮されるため、実際には指定したエリアより離れた位置で発動することがあります。
※注意	位置登録を変更後は、設定変更した[設定 S01]～[設定 S04]のページの[設定保存]ボタンを必ずクリックして設定を保存してください。
※注意	バージョン 8.3.28 をご利用のコンピューターでは、コンピューターの電源が入っていない状態から起動したときにのみこの機能が実行可能です。 バージョン 8.3.40 以降をご利用のコンピューターでは、Windows が起動している状態、およびコンピューターの電源が入っていない状態でもこの機能が実行可能です。

6. 消去やロックの確認方法

管理サーバーの[履歴]メニューではコンピューターの状況を確認できます。
サーバーからロックや消去の命令を発行した場合や、コンピューターの状況がセキュリティ条件に一致してロック等が自動発生した場合、それらのアクションがこのメニューに表示されます。
それぞれの発動条件とアクション、ステータスは進捗状況によって次のように表示されます。

サーバーから命令を発行する場合

命令種類	発動条件	ステータス		
		発行直後	命令受信後	命令実行後
1 回消去命令	命令発行／1 回消去	命令発行	実行中	完了
3 回消去命令	命令発行／3 回消去	命令発行	実行中	完了
SecureErase	命令発行／SE	命令発行	実行中	完了
ロック命令	命令発行／ロック	命令発行	実行中	完了
情報取得	情報取得	命令発行	完了	完了
情報取得(自動発行)	情報取得 位置情報優先	命令発行	完了	完了
ビープ	ビープ命令	命令発行	完了	完了

※消去以外のアクションでは「実行中」は表示されないことがあります。

※情報取得やビープは Windows 起動中にインターネット経由で命令を受信した直後は「実行中」と表示されることがあります。

※情報取得(自動発行)は位置情報優先オプションが有効時にシステムが自動的に発行する 2 通目の位置情報取得命令です。

コンピューター側で自動的にセキュリティ機能が実行される場合

命令種類	実行アクション	発動条件	ステータス	
			実行直後	実行完了後
BIOS パスワード 失敗	通知	PW 違反	実行中	完了
	ロック	PW 違反／ロック	実行中	完了
	1 回消去	PW 違反／1 回消去	実行中	完了
	3 回消去	PW 違反／3 回消去	実行中	完了
	SecureErase	PW 違反／SE	実行中	完了
タイマー	ロック	タイマー／ロック	実行中	完了
GeoFence (指定のエリア 外)	通知	GeoFence	実行中	完了
	ロック	GeoFence／ロック	実行中	完了

※消去以外のアクションでは「実行中」は表示されないことがあります。

ステータスレポート

履歴メニューに表示されているコンピューター名をクリックすると[ステータスレポート]が表示され、詳細情報が表示されます。

ステータスレポート

TRUSTDELETE Biz

ステータスレポート内容

利用者名: TANAKA
 電話番号: 08011112345
 コンピューター名: Sales-PC001

機種品番	CF-SX3EFRTS
製造番号	3IKSA00924
発動条件	命令発行 / 3回消去 (ID:017)
ステータス	完了 / SDカード
命令発行日時	2015-11-09 16:44:39
命令完了日時	2015-11-09 17:50:25
命令実行時の電源状態	シャットダウン / DC / 43%
最後に電源入れた日時	2015-11-01 14:58:36
最後にOS起動した日時	2015-10-31 14:39:24
SSDシリアル	Y2AS1014TADY
不正起動回数	0
PW入力間違い回数	0
位置情報	地図表示 計測日時: 2015-11-03 03:03:03.000 緯度: 35.686217 経度: 139.696596 精度: 121m

利用者名、電話番号、コンピューター名: ご利用のコンピューターの情報が表示されます。
 機種品番、製造番号: 機種品番と製造番号は製品の保証書に記載されています。
 発動条件: その命令またはアクションの発生条件と種別が表示されます。
 ステータス: 進捗状況に応じて[命令発行/実行中/完了]と表示されます。消去命令実行時に SD カードの消去到成功した場合「完了/SD カード」と表示されます。
 命令発行日時: サーバーから命令を発行した日時です。
 命令完了日時: アクションが完了した日時です。
 命令実行時の電源情報: コンピューターの電源状態/AC 電源の有無/バッテリー残量の順で表示されます。コンピューターの電源状態は状態に応じて「Windows 動作中、電源オン (Windows 起動前)、スリープ、シャットダウン」のいずれかが表示されます。
 最後に電源入れた日時: 最後にコンピューターの電源を入れたまたは入れようとした日時をあらわします。紛失以降の日付があれば誰かが電源を入れようとしたことを意味します。
 最後に OS 起動した日時: 最後に Windows が起動した日時をあらわします。紛失以降の日付が

なければコンピューターは紛失後に一度も起動されていないことを意味します。

SSD シリアル: アクション実行時に搭載されていた SSD/HDD シリアル番号

※詳細情報に表示されている SSD シリアルと比較することで SSD が不正に交換されていないかを推測することができます。

不正起動回数: 第三者が不正に起動を試みて失敗した回数

PW 入力間違い回数: 第三者が不正な PW を入力した回数

※PW 入力間違い回数は、ご利用の機種によっては表示されない場合があります。

※PW 入力間違い回数は、対象設定画面のアクション設定の「BIOS パスワードを規定回数失敗した時のアクション」で OFF 以外のアクションを選択している場合にカウントされます。

位置情報: ステータスレポート生成時に取得したコンピューターの位置情報(計測日時、緯度、経度、精度)を表示します。取得した位置情報に複数の測定結果が含まれる場合、同じ位置情報が表示されることがあります。[地図表示]をクリックすると表示の座標を地図上にあらわします。ここに表示される位置情報は必ずしも命令を実行した時点の位置情報とは限りません。電波の状況によっては位置情報を取得できない場合がございます。

※ヒント	コンピューターの電源状態が「電源オン(Windows 起動前)」と表示されている場合はコンピューターの電源が入っているが Windows が起動していない状態を指します。例えば BIOS Setup Utility を起動している状態で命令を受信したときにこのように表示されます。
※注意	コンピューターのバッテリーや通信の電波状態等の条件により、実際に消去が完了しても管理サーバーのステータスが消去完了にならない場合があります。この場合、履歴の表示は[実行中]のままになります。
※注意	パスワード違反やタイマーによって命令の発行なしに起動した機能は発行日時が表示されません。
※注意	受信する SMS の情報によっては電源情報や SSD シリアル番号が取得できない場合があります。
※ヒント	不要なレコードを削除する場合は右端のチェックボックスにチェックを入れて、[削除する]ボタンを押してください。ステータスが命令発行や消去中のレコードは削除できません。
※注意	コンピューターが SMS の送受信が不可能な状態では、インターネット経由で命令を受信しても詳細な情報を取得できません。この場合、発動条件、ステータス、発行日時、完了日時が表示されます。
※注意	SD カード消去を有効にして消去命令を実行後、ステータスに「完了」とのみ表示される場合は SD カードが検出できない、または何らかの原因で SD カードの消去に失敗したが、SSD(またはハードディスク)の消去は正常に完了したことを意味します。
※注意	電波状況等によりコンピューターが SMS によるステータス通知に失敗しても、有線 LAN 接続のインターネット経由で完了通知が送られることがあります。

データ適正消去実行証明書

TRUST DELETE Biz パナソニック版 Plus をご契約のお客様は、データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC) が発行する「データ適正消去実行証明書」を取得、閲覧することが可能です。「データ適正消去実行証明書」には、消去を実施したパソコンおよびドライブの情報のほか、消去に使用したソフトウェアの情報、消去を実行した日時と実行結果などが記載されており、記載内容による適正な消去が実行されたことが、ADEC によって証明されます。

The diagram illustrates the process of generating and confirming a data erasure certificate. It shows two versions of the 'ステータスレポート' (Status Report) interface. In the first version, the '発行' (Issue) button is highlighted with a red box. A blue arrow points to the second version, where the button has changed to '確認' (Confirm), also highlighted with a red box. Both screens display the same information: TRUSTDELETE Biz status report, user details (08081779950), and a table of execution logs.

項目	内容
機種番号	CF-HXGAFBKS
製造番号	6H4SA19009
製造条件	命令発行 / 1回消去 (10:001)
ステータス	完了
命令発行日	2020-09-08 09:19:04
命令完了日時	2020-09-08 09:37:06
命令実行時の電源状態	Windows動作中 / DC / 97%
最後に電源入れた日時	2020-09-08 09:25:27
最後にOS起動した日時	2020-09-08 09:21:01
SSDシリアル	S1ZKNAAH407030
不正起動回数	2
PW入力間違い回数	0

- ・ [ステータスレポート]の下部にある[証明書を発行する]ボタンをクリックします。
- ・ しばらくするとボタンが[証明書を確認する]に変わります。

[証明書を確認する]ボタンをクリックすると、「データ適正消去実行証明書」が表示されます。表示された証明書は、必要に応じてダウンロードし、保管してください。データ適正消去実行証明書の発行可能枚数は、[管理者]メニューの「契約情報」で確認できます。

※ヒント	データ適正消去実行証明書の発行可能数は契約更新時(契約開始から1年後)にリセットされます。契約更新時に発行可能数が残存していた場合、残存分は更新時に消滅し、翌年に繰り越されることはありません。
※注意	データ消去実行証明書は、TRUST DELETE Biz パナソニック版 Plus をご契約の上で、LTE 対応モデルにて SMS の送受信が可能な SIM が認識されている状態で消去命令が実行され、消去の完了通知を受信した場合のみ発行可能です。 [詳細情報] 画面で電話番号が登録されていない端末(P17 参照)や、電話番号が登録されていても、SMS が受信できない場合には、消去が完了しても[証明書を発行する]ボタンが表示されません。

データ適正消去実行証明書(サンプル)

2020年05月22日
発行 ID:000000001071

データ適正消去実行証明書

データ適正消去実行証明協議会〔略称：ADEC(Association of Data Erase Certification)〕
にて認証したデータ消去ソフトウェアおよび消去事業者にて、データの適正消去が実行さ
れた事を証明いたします。

消去パソコン情報

メーカー名 / 型番	Panasonic/none
製造番号 (シリアル)	none
ドライブ情報 (モデル名/製造番号/容量)	none

消去情報

消去事業者情報	事業者ID	: 0001
	事業者名	: TESTワンビ株式会社 TEST本社
	レーティング	:
消去ソフトウェア情報	メーカー名	: パナソニック株式会社
	ソフトウェア名	: パナソニック ディスク消去ファームウェア
	認証番号	: ADEC-S2019-004
	消去方法	: 指定データによる上書き
消去実行日時	開始: 2018/01/25 17:12:23	終了: 2018/01/25 18:46:07
消去結果	○	

※HPA.DCO の領域は証明書発行日現在において、消去対象に含まれておりません。

証明書発行シリアルナンバー : 0808177950_20180125171223

一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会について

コンピュータソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じ
て、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としている一般社団法人です。

データ適正消去実行証明協議会について

データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準の策定とデータが適正に消去された
ことを第三者機関が証明する制度の普及・啓発を推進する協議会です。



7. 命令キャンセルについて

消去やロックの命令を発行してから一定時間経過してもコンピューターから命令の受信または実行に関する通知を受け取れない場合、システムは命令をキャンセルします。

命令キャンセルの条件について

命令種別	条件	動作
消去命令	命令発行から 3 時間以内にコンピューターから完了の通知が来ない場合	ステータスが[キャンセル]になり、命令ボタンが有効になります
ロック命令	命令発行から 3 時間以内にコンピューターから完了の通知が来ない場合	ステータスが[キャンセル]になります
情報取得またはビープ命令	命令発行から 10 分以内にコンピューターから完了の通知が来ない場合	ステータスが[キャンセル]になります
消去またはロック命令	コンピューターから命令の受信確認の通知が届いたが、3 時間経過しても完了通知が来ない場合	ステータスが[命令取得済み]になり、命令ボタンが有効になります。

[命令取得済み]ステータスについて

コンピューターが消去またはロック命令を確実に受信した状態を表します。これは命令を受信したにも関わらず、完了通知が届いていない状態を示します。サーバーへの通知は届いていませんが、実際にはアクションが完了している可能性があります。

システムにより命令がキャンセルされた場合はホーム画面の上部に以下のメッセージが表示されます。

＜消去またはロック命令のキャンセル時の表示＞

(コンピューター名)は命令が正しく実行されなかった可能性があります。もう一度お試しください。 [詳細を見る](#)

＜情報取得またはビープ命令のキャンセル時の表示＞

(コンピューター名)は現在ご利用いただけません。しばらくして再度お試しください。 [詳細を見る](#)

※注意	いったん消去命令を発行するとすべての命令ボタンが無効になりますが、消去命令がキャンセルされると再びすべてのボタンが再び使用可能になります。
※注意	ステータスが[キャンセル]になったあとに SMS 通信が改善して、発行済みの命令が完了したことが確認できる場合があります。この場合、ステータスが[キャンセル]から[完了]に変わります。
※ヒント	命令が自動でキャンセルされた場合、なんらかの理由によりコンピューターが SMS を送受信することが困難な環境にあり、かつインターネット接続ができない状態にあると考えられます。少し時間をあけてから再び命令を発行することをおすすめします。

8. 位置情報取得機能

紛失したコンピューターの位置情報を地図上で確認する機能です。

設定方法

設定メニューの上部にある[位置情報を利用する]にチェックを入れて[設定保存]をクリックします。

位置情報の確認方法

ホームメニューからコンピューターを選択してクリックします。詳細情報画面が開いたら下部の[位置情報を表示]ボタンをクリックします。



別ウインドウで地図が表示され、管理サーバーが受信した最大 15 件の位置が表示されます。



※注意	Wi-Fi のアクセスポイントから位置情報を取得するケースでは、コンピューターに割り振られた IP アドレスが位置情報データベースとリンクしていない場合、実際の位置とは異なる情報が地図上に表示されることがあります。
※注意	Windows の位置情報の設定がオンになっている必要があります。Windows10 の場合、スタート画面もしくは、アクションセンターから[Windows の設定] - [プライバシー] - [位置情報]から、[位置情報サービス]がオンであることを確認してください。
※注意	位置情報には測定結果の精度が記載されています。地図が示している位置は実際には精度に表示されている距離の分の誤差が含まれています。

9. 管理者設定

管理者メニューでは以下の設定または情報確認ができます。

1. メールアドレス: メールアドレスを変更する場合は新しいメールアドレスを入力し[設定]ボタンを押します。このメールアドレスに登録完了や消去完了のお知らせメールが送信されます。
2. ログイン ID: ログイン ID を変更することはできません。
3. インストール情報: クライアントプログラムの登録に必要なシリアル番号が表示されます。
4. 契約情報: ご契約台数(ご利用可能な数)および登録しているコンピューターの台数、ご契約の終了日が表示されます。Plus 契約のお客様は、証明書発行可能枚数も表示されます。
5. アンインストールパスワード: アンインストールパスワードを入力し[設定保存]ボタンを押します。※初期段階では[0000]が登録されています。任意のパスワードに変更することをおすすめします。コンピューター側のクライアントプログラムをアンインストールする際にアンインストールパスワードの入力が求められます。プログラムを不正にアンインストールすることを防ぎます。
6. ロック時の連絡先情報: コンピューターをロックした場合、ここで入力した連絡先情報がロック解除画面に表示されます。万一の時に利用者がロックの解除方法について連絡をとることが可能なように、連絡先を指定してください。
ロック時の連絡先に使用できるのは 64 文字までです。ダブルクォーテーション(")、バッククォート(`)、チルダ(~)、制御文字以外の ASCII コードがご利用になれます。
7. 本人確認情報: Plus 契約のお客様、または TRUST DELETE24(24 時間対応命令発行代行サービス)を追加契約されたお客様用の項目です。(その他のお客様には表示されません)
コールセンターからの命令発行代行サービスを利用する場合には、「サービスガイドのダウンロードはこちら」からサービスガイドを取得し、内容に従って本人確認情報の登録を行ってください。本人確認情報の登録を行っていないパソコンに対しては、コールセンターからの命令発行を行えません。

10. その他の機能

コンピューター検索機能

複数台でご利用の場合、管理サーバーのコンピューター管理メニュー(トップ画面)の一覧表示で、任意のコンピューターを検索することができます。検索方法は次の2種類が利用できます。

◆ キーワード指定で検索(左):コンピューター名または利用者氏名、電話番号、備考欄による検索。

検索キーワードと部分一致した項目が一覧で表示されます。

◆ 接続日時で検索(右):一定時間サーバーと認証していないコンピューターを検索できます。画面右上の検索ウィンドウにカーソルをあてるとカレンダーが表示されます。最終認証日を選択すると、その日付以降に認証していないコンピューターが一覧表示されます。

◆ 検索条件をクリアするにはリスト左上の「表示をリセット」ボタンをクリックしてください。

※注意	接続していないコンピューター検索に未来の日付を入力するとすべての登録情報が表示されます。入力欄には年月日を半角数字で指定してください。
※ヒント	接続していないコンピューターの検索を定期的に行うことで、サーバーへの接続頻度を把握しておくに便利です。

ソート機能

画面では登録コンピューターの表示をソート機能で並び変えることができます。

並び変えの基準となる項目は[コンピューター名]、[利用者]、[発動条件]、[ステータス]、[備考]、[最終接続日時]です。クリックをリPEATすると並びが逆転します。リスト左上の[表示をリセット]をクリックすると元の順番に戻ります。

コンピューターの登録解除

次のような場合は登録済みのコンピューターを登録から外す(登録解除といいます)必要があります。

- ✓ 新しいコンピューターに買い換えた場合
- ✓ OSの再セットアップなどでクライアントプログラムを再インストールする場合
- ✓ 契約台数が不足して空きが必要な場合

登録解除の手順

画面右側のボックスにチェックを入れてから[登録解除]ボタンをクリックします。登録解除の確認画面が表示されたらOKをクリックします。以上でこのコンピューターの登録が抹消され1台分の空きができます。

※注意	登録解除ボタンをクリックする前に右端のボックスに必ずチェックを入れてください。
-----	---

登録解除のあと、空きが出たら再インストールまたは別のコンピューターを新規にインストールして登録を実行してください。

※重要	登録解除だけでは、当該コンピューターからクライアントプログラムをアンインストールしたことにはなりません。 パナソニック版ではクライアントプログラムのアンインストールすることで、該当コンピュ
-----	---

	<p>ーターのセキュリティ設定を解除する仕組みがあります。</p> <p>コンピューターを再利用する場合には、クライアントプログラムを事前にアンインストールしてください。</p> <p>事前にアンインストールを行わずに、コンピューターのリカバリや OS の再インストール等を実施すると、意図せずロックが発生するなど、該当コンピューターが正常に利用できなくなる可能性があります。</p>
--	--